

# 再評価調書

NO. 1

事業名	無電柱化推進事業		事業区間	福井縦貫線 福井市松本4丁目～宝永4丁目		
事業目的						
<p>当路線は、福井市街地を南北に縦貫し、都市の骨格となる景観軸を形成する幹線道路であり、路面電車が走る福井らしい景観を形成している。これまでに、幸橋北詰交差点から裁判所前交差点までは「福井市都市景観条例(H3)」に基づき、「都市景観形成地区」として魅力あふれる都市景観の整備(無電柱化)を図ってきた。</p> <p>当該整備区間は、裁判所や高校など公共施設等が集中立地しており、歩行者・自転車等(4,314人・台/12h:H22センサ)の通行が多く、都市景観(福井都心景観形成重点地区)の向上に加え、安全・快適な歩行空間や視界の確保、防災対策(緊急輸送道路・避難路の確保)の観点から無電柱化を図るものである。また、平成25年3月に県都デザイン戦略の短期計画にも位置付けられ、早期の整備が必要とされている。</p>						
全体事業内容						
事業延長 L=900m 電線共同溝 L=1800m 歩道整備 1式 移設補償費 1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成22年度	—	平成22年度	平成29年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		900,000	739,642	82.2%	160,358	
財 源 内 訳	国 庫	524,117	424,847	/	99,270	
	県 他	375,883	314,795		61,088	
費用対効果		—				
事業の進捗状況	H26までの状況	・電線共同溝1800mのうち、東側900m、西側590m区間の完了を予定している。				
	H27以降残事業	・残る西側区間において電線共同溝整備を進めていく。平成29年度完了見込み。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	9億円	9億円	変更なし			
完成予定年度	平成25年度	平成29年度	平成22年度から事業に着手したが、時期を同じくして、他事業(えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ事業)が実施されることになり、本事業も一体的に整備していく必要が生じた。しかし、他事業の計画決定が大幅に遅れたことにより、支障物件移設が遅れ、施行期間内の完了が困難となったことにより、平成29年度完成見込みとなった。			
事業を休止した場合の影響						
残事業箇所において、既設電柱・電線等が現道上に残ることになるため、防災拠点である福井地区中消防署付近の緊急輸送道路としての機能強化が図られない。また、当事業箇所北側には福井国体会場の福井市体育館があるが、国体までに整備できなくなる。						
備 考						

# 再評価調書

NO. 2

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道157号 大野市 南新在家～吉		
事業目的						
<p>一般国道157号大野バイパスは大野市街地を取り囲む外郭環状道路の一部として整備することで、市街東部の住民や南部の工業団地と福井市方面のアクセスを向上させ、通過交通をバイパス部に誘導することにより、市街地内の交通混雑の緩和を図るものである。</p> <p>さらに、中部縦貫自動車道(大野IC)へのアクセス向上により、高次医療機関への移動時間短縮など、市民の安全・安心を確保するとともに、当該地域の産業や観光振興に寄与する。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=4,650m、幅員W=25.5m(車道幅員13.0m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成12年度	平成13年度	平成16年度	平成28年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		7,700,000	6,691,513	86.9%	1,008,487	
財 源 内 訳	国 庫	3,765,615	3,286,584	/	479,031	6.5/10
	県 他	3,934,385	3,404,929		529,456	
費用対効果		1.46 (総便益150億円 総費用103億円)				
事業の進捗状況	H26までの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体延長4,650mのうち、平成25年3月に南新在家から中保までの3,170m(4車線)を部分供用済。</li> </ul>				
	H27以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>菖蒲池から吉工区の用地買収及び物件補償について、事業認定手続きを進め、用地取得困難箇所について土地収用を図る。</li> </ul>				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	81億円	77億円	他事業(道路改良事業)と調整し、建設発生土を有効活用してコスト削減を図った。			
完成予定年度	平成28年度	平成28年度	変更なし			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> <li>中部縦貫自動車道(大野IC)への円滑なアクセスが確保できない。</li> <li>市街地の交通混雑の緩和を図ることができない。</li> </ul>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 3

事業名	道路改良事業	事業区間	一般県道勝山インター線 勝山市鹿谷町～荒土町			
事業目的						
<p>当路線は、中部縦貫自動車道の勝山インターと勝山市街地を連絡する道路である。中部縦貫自動車道は平成28年度に永平寺東インターから上志比インターまでを供用開始する予定であり、当該区間の供用により、北陸自動車道から大野インターまで繋がり、奥越方面への交通量の大幅な増大が見込まれている。</p> <p>当路線の整備により、勝山インターから勝山市街地や周辺の観光地への円滑なアクセスを確保し、奥越地域の活性化、観光振興に寄与するものである。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=2,120m 幅員 W=13.0m(車道幅員6.5m) 橋梁 (仮称)勝山インター橋 L=264.5m</p>						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成11年度	平成11年度	平成11年度	平成28年度		
事業費 (千円)		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		5,882,000	3,115,477	53.0%	2,766,523	
財 源 内 訳	国 庫	2,773,010	1,585,460	/	1,187,550	4.5/10
	県 他	3,108,990	1,530,017		1,578,973	
費用対効果		1.97 (総便益131億円 総費用66億円)				
事業の進捗状況	H26までの状況	<p>平成14年度 起点側約800mを部分供用。 平成24年度 橋梁下部工3基(A1,P2,P3) 平成25年度 橋梁下部工3基(P1,P4,A2) ※(仮称)勝山インター橋(L=264.5m、5径間連続PC場所打箱桁、下部工6基)</p>				
	H27以降残事業	・事業認定手続きを進め、用地取得困難箇所について土地収用を図る。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	58.8億円	58.8億円	変更なし			
完成予定年度	平成28年度	平成28年度	変更なし			
事業を休止した場合の影響						
<p>・中部縦貫自動車道の供用開始に伴う交通量増大に対応できないため、休日や通勤時間帯の大規模な交通渋滞が予想され、さらには、中部縦貫自動車道の効果的な活用ができない恐れがある。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 4

事業名	総合流域防災事業		事業区間	一級河川 七瀬川 福井市内山梨子町～大年町		
<b>事業目的</b>						
七瀬川は、一級河川九頭竜川の支川で、福井市北部に位置し、山間地の集落を流れる河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を現況の80m <sup>3</sup> /sから170m <sup>3</sup> /sに高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
<b>全体事業内容</b>						
全体延長 L=3,100m 掘削護岸工L=3,100m、橋梁N=4橋、取水堰N=1箇所、用地補償1式						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成2年度		平成12年度	平成15年度	平成39年度	
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		3,400,000	1,999,061	58.8%	1,400,939	
財 源 内 訳	国 庫	1,700,000	999,531	/	700,470	1/2
	県 他	1,700,000	999,531		700,470	
<b>費用対効果</b>		1.53（総便益63.2億円 総費用41.3億円）				
<b>事業の進捗状況</b>	H26までの状況	・全体延長3,100mのうち、取水堰1箇所、橋梁1橋を含む下流から約900mまでの改修を完了し、下流地域の流下能力を80m <sup>3</sup> /sから170m <sup>3</sup> /sに高められた。				
	H27以降残事業	・上流部の流下断面が不足している区間において、用地買収を先行しつつ、河道拡幅および護岸の整備を進め、治水効果の早期発現を図る。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	34億円	34億円	変更なし			
完成予定年度	平成29年度	平成39年度	一体的に実施していた圃場整備事業について、計画決定及び完成までに約10年を要したことにより平成39年度完成見込みとなった。			
<b>事業を休止した場合の影響</b>						
事業区間は、山間に集落が点在した地域であり、事業を休止した場合、住宅・保育園・幹線道路（主要地方道福井大森河野線、一般県道八幡横越線）等に対し、洪水に伴う被害が及ぶことで、住民生活に大きな影響があり、安全性が確保できない。						
<b>備 考</b>						

# 再評価調書

NO. 5

事業名	広域河川改修事業		事業区間	一級河川 大蓮寺川 勝山市栄町2丁目～勝山市旭町2丁目		
事業目的						
大蓮寺川は、一級河川九頭竜川の支川浄土寺川に合流する支川で、勝山市街地を流れる河川である。現況の流下断面が不足していることから、流下能力を現況の29m <sup>3</sup> /sから94m <sup>3</sup> /sに高めることで、水害から住民の生命と財産を守ることを目的とする。						
全体事業内容						
全体延長 L=2,915m 現川改修L=690m、放水路元禄線L=815m、放水路立石線L=1,410m、用地補償1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成4年度	平成4年度	平成15年度	平成36年		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		12,200,000	2,120,400	17.4%	10,079,600	
財 源 内 訳	国 庫	6,100,000	1,060,200		5,039,800	1/2
	県 他	6,100,000	1,060,200		5,039,800	
費用対効果		7.22（総便益888.4億円 総費用123.0億円）				
事業の進捗状況	H26までの状況	・全体延長2,915mのうち、約530mの現川改修を完了し、改修地域の流下能力を29m <sup>3</sup> /sから41m <sup>3</sup> /sに高められた。				
	H27以降残事業	・現川改修後、2本ある放水路のうち放水路元禄線から整備を進めていく。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	122億円	122億円	変更なし			
完成予定年度	平成36年度	平成36年度	変更なし			
事業を休止した場合の影響						
事業区間は、勝山中心市街地にあり、事業を休止した場合、住宅・学校・病院・福祉施設・幹線道路等に対し、洪水に伴う被害が及ぶことで、住民生活に大きな影響があり、安全性が確保できない。						
備 考						

# 再 評 価 調 書

NO. 6

事業名	交通安全施設等整備事業		事業区間	一般国道417号 鯖江市本町2丁目～桜町2丁目		
事業目的						
<p>国道417号は岐阜県大垣市を起点として南条郡南越前町赤萩に至る幹線道路である。</p> <p>当該事業区間は、通学路、あんしん歩行エリア、都市再生整備計画エリア、緊急輸送道路に位置づけられており、当事業は福井県無電柱化推進計画において無電柱化の実施合意が得られている。また、周辺では鯖江市により鳥羽中芦山線の整備(歩道および電線共同溝整備)が進められ、交差する鯖江停車場線は電線共同溝整備が完了している。このような状況をふまえ、電線共同溝整備を行い、安全で快適な通行空間及び視界の確保、都市景観や防災性の向上等を図るものである。</p>						
全体事業内容						
<p>全体延長 L=400m 歩道改良 L=400m 電線共同溝 L=400m 踏切拡幅 1箇所</p>						
事業計画	事業採択年度		用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度	
	平成22年度		平成23年度	平成23年度	平成29年度	
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		565,000	359,000	63.5%	206,000	
財 源 内 訳	国 庫	354,300	220,400	/	133,900	
	県 他	210,700	138,600		72,100	
費用対効果		—				
事業の進捗状況	H26までの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度までに、連系設備立上げ柱(地中化した電線と周辺架空線を結ぶのに必要な電柱)位置および地上機器(変圧器)位置の決定</li> <li>電線共同溝工事400mのうち220m、歩道改良400mのうち190m完了</li> </ul>				
	H27以降残事業	電線共同溝工事および歩道改良工事を順次進め、平成29年度までに完了予定				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	470百万円	565百万円	地盤が軟弱であったことで、現地掘削土が流用できず、購入砕石による埋戻しが必要となったため。			
完成予定年度	平成26年度	平成29年度	連系設備立上げ柱位置や地上機器位置を決める地元交渉に2年を要したため。 想定と異なる位置に判明した埋設管を避けるための計画変更により1年を要したため。			
事業を休止した場合の影響						
<p>無電柱化や歩道の拡幅による歩道の安全性が確保されない。</p> <p>電線共同溝は区間全体が完成して、電線管理者(北陸電力、NTT等)が、地中化した管路への入線や電柱の引き抜きをして初めて効果が発生するため、事業休止した場合、電線共同溝としての効果はゼロとなる。</p> <p>また、本事業は電線管理者から毎年、建設負担金を受けているため、返還が必要となる。</p>						
備 考						

# 再評価調書

NO. 7

事業名	道路改良事業		事業区間	一般国道416号 勝山市 野向町横倉～県境		
事業目的						
<p>当道路は、福井県勝山市と石川県小松市を連絡する幹線道路であり、両市の交流、連携を促進する道路として重要な路線である。しかし、現況は交通不能区間となっている。開通すれば、両市を直結するだけでなく、広域観光ルートや災害時の代替路として重要な路線となる。</p> <p>このため、石川県と連携し、交通不能区間を解消し地域の産業、経済の活性化を図るとともに、安心できる交通の確保を図る。</p>						
全体事業内容						
全体延長 L=3,774m 、幅員 W=5.0m(車道幅員4.0m)						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成30年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H26年度まで)	進捗率 (H26末)	残事業費 (H27以降残額)	備考
予 算 額		2,240,000	1,321,250	59.0%	918,750	
財 源 内 訳	国 庫	1,335,050	766,300	/	568,750	6.5/10
	県 他	904,950	554,950		350,000	
費用対効果		1.31 (総便益38億円 総費用29億円)				
事業の進捗状況	H26までの状況	・全体延長3,774mのうち680mが完成				
	H27以降残事業	・残り3,094mの改良工事を進め、平成30年度に完了供用の予定。				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	14.5億円	22.4億円	基礎となる固い地盤が当初約2mと見込んでいたが約8mと深い所にあったことから、土質改良や盛土等の対策工を施す必要が生じたため。			
完成予定年度	平成28年度	平成30年度	土質改良による盛土材の確保や盛土等の対策工の実施に約2年の期間を要するため、完了年度が平成30年度となる。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県と石川県を結ぶネットワークが形成されない。</li> <li>・国道157号が災害、事故等により通行止めになった場合は、迂回に長時間を有する。</li> </ul>						
備 考						